

私の祖父母は石川県に住んでいる。そのため、私は石川県へ行くことが多い。その石川県内にある金沢駅に、「もてなしドーム」と「鼓門」があるのを知っているだろうか。

これらは二〇〇五年に税金を使って作られた駅舎である。作られた当初は「税金の無駄使いだ」などといった批判が多かった。しかし、私は「もてなしドーム」などは良い効果を生み出していると考える。

直接的なものでは、「もてなしドーム」のおかげで雨や雪にあたらずに移動できるようになった点だ。『弁当忘れても傘忘れるな』という、天気が変わりやすく雨の日が多いことを意味する格言があるほど雨が多い金沢。金沢に長く住んでいた母は「もてなしドームができたから、雨や雪の日に荷物が多くても移動が楽だね」と話してくれた。税金のおかげで金沢駅が便利になったのだ。

また、観光客の増加による効果も考えられる。実際、二〇一五年に北陸新幹線が開通してから「鼓門」を訪れると、写真を撮っている人や立ち止まって見ている人がたくさんいることが分かる。さらに金沢駅は世界で最も美しい駅十四選に選ばれたこともあり、コロナ禍の前は外国人観光客が多かった。数値を見ても、二〇〇四年から二〇一三年で約三・七倍になっている。外国人観光客に限らず、金沢市などを訪れる観光客の数は増加の一途をたどった。

観光客の増加と税金は、一見、関わりがないかのように思えるが、実は違う。宿泊税という、旅行でホテルや旅館に泊った時にかかる税金が存在するからだ。それは、東京都、大阪府、京都市、金沢市を含むいくつかの場所でのみ課される地方税である。私は大阪にも京都にも旅行で行ったことがあるが、宿泊にかかる税金があるとは全く知らなかったのもとても驚いた。金沢市では歴史、伝統、文化など固有の魅力を高めるとともに、市民生活と調和した持続可能な観光の振興を図る施策に要する費用に充てるために宿泊税があるそうだ。それによって「旅行代が高くなってしまおう」と思う人もいるかもしれない。しかし、私は旅行した場所の伝統など魅力を高めるのに貢献できる、素晴らしい税金だと思った。

税金によって作られたものによって税金が納められる。そしてそれが税金を払った人たちの生活を豊かにするために使われる——。このように、税金は社会を回っていると感じた。私も税金を回す一員になりたいと思う。